

水辺の小さな自然再生 事例データベース

事例番号	6KN09	地域	近畿	記入年月	2025年3月
------	-------	----	----	------	---------

事例名称		木箱をつかった手作り魚道									
位置情報		都道府県名	滋賀県	市町村名	大津市	緯度経度	35.166966, 135.917733	水系名	淀川	河川名	喜撰川
取組概要		琵琶湖に流入する急流河川となる喜撰川では、落差工によりアユをはじめとする魚類の遡上が困難な状態になっていた。財政難のため河川管理者による対策が見込めない中、市民が立ち上がり、間伐材を用いた木箱を階段状に並べた手づくり魚道を設置し、数千尾のアユが遡上するまでに至っている。									
再生目的	生物環境	対象種	アユ他								
	物理環境	連続性回復	魚道（縦断）	○	魚道（横断）	-					
		生息・生育・繁殖場造成	瀬淵	-	ワンド・たまり	-					
			二次流路	-	水際植生	-					
			攪乱	-	空隙	-					
その他		-									
開始年	2005	工法	木製階段式箱型魚道								
実施体制	実施主体	びわ湖環境保全ネットワーク									
	連携者	滋賀県大津土木事務所、琵琶湖河川事務所、大津みどりのNPO、龍谷大学 等々									
効果	魚道を設置後、毎年多くのアユの遡上が確認されている。また、占用許可手続きを通じて菅管理者と良好な関係が構築された。										
関連資料 URL	旧カルテ	-									
	事例集記事	https://www.rfc.or.jp/collaboriver/03casebook/RFC6KN09casebook.pdf									
	現地研修会報告書	-									
参考情報 URL	https://www.takara.co.jp/environment/fund/pdfs/10terakawa.pdf										



本表は、公開情報及び関係者ヒアリングに基づき作成したものです。誤った情報、修正・更新を要する情報、新たに追加したい事例等がございましたら、(公財) リバーフロント研究所・リバロサポートセンターまでお知らせください。 Email: supportcenter@rfc.or.jp